

図書館員のひみつの本棚 第 233 回

今月はアラスカのむかしばなし絵本です。

『よあけのはこ』

ボブ・サム／語り あずみ虫／絵 谷川 俊太郎／訳 あすなろ書房 2025 年 ¥2000(税別)
E(99)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★★☆ 小高学年★★★★ 中学生★★★★

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

まだ、世界にお日さまも月も星もなかったころ、人間の長老がそれぞれお日さまと月と星を入れた 3 つの箱を持っていると知ったワタリガラスが、長老の孫に生まれかわりそれらを手に入れようとする。

アラスカやカナダの先住民族「クリンギット族」に伝わる天地創造のむかしばなし。

<子どもに手渡す時のポイント>

クリンギット族には母親の代から受け継ぐ動物のクラン(家系)があり、このおはなしはワタリガラスのクランの人だけが語ることができるそうです。巻末にクリンギット族についての解説や、この本ができた経緯が書かれているので、併せて紹介すると子どもたちに興味を持ってもらえると思います。アルミ板をカッティングする技法で描かれた絵は個性的で、文章もよいので、少し上の年齢の子どもへの読み聞かせにもおすすめです。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。